

2019年5月25日発行

鵬 鷺 HOSAI 鷺



「鵬鷺」鵬は翼の幅3,000里、一飛びで90,000里という伝説上の中国の鳥。そこで鵬（おおとり）が飛ぶ（＝はるかなかなたの）空のことを言う。「際限のない」という意味でも使われる。私たち経済開発同友会の目指す活力ある八代づくりも、言わば際限のない努力を必要としますが毎年この機関誌を出す事によって一步一步目標に近付きたいものです。その願いを込めて誌名を「鵬鷺」と名付けました。尚、題字は本島小夜子先生にお願い致しました。

八代経済開発同友会
(通巻第128号)

<http://www.goroyoka-yatsushiro.com>
E-mail:jimukyoku@goroyoka-yatsushiro.com



動き出そう!! 夢物語から実現へ… 次世代の地域経済を担う子ども達のために…

令和元年 八代経済開発同友会
第56代 代表幹事 松岡 隆志

八代経済開発同友会、56年目の代表幹事を仰せつかり、上記のスローガンにしました。前期のスローガンに「次世代の地域経済を担う子ども達のために…」と、付け足しました。「次世代の地域経済」は会員の皆さんの企業でもあるし、地域企業にとらえまた「子ども達」はその企業で働く社員とその家族、そして経営者の家族と見立てています。企業の存在は、社員の幸福感であることを強調します。

さて昨今、時代はうねりをあげて変化していきます。取り上げと言うならば、米中貿易摩擦や各国の経済制裁など様々な事が日本経済にも影響を及ぼしています。私達の地域企業にもその波は押し寄せてきています。

その様な中、日本では5月に新元号「令和」となり、2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催され、大阪では2025年に万博が開催されます。

そして私達の地域では、2020年4月には八代港に世界最大級クルーズ船着岸可能な専用岸壁、大型バスが150台・タクシーや乗用車が120台駐車できるエリア、そしてくまモンパーク（仮称）や集客施設を配した旅客ターミナルが完成いたします。前期で「やつしろ国際クルーズ船拠点サミット2019」を開催させていただき、地域の機運醸成を図ることができたかと思います。

しかし、これからの活動が大切で我々、八代経済開発同友会としても確りコミットさせていただきます。上部組織の無い当会は、自由な発想で当会の理念に基づき、八代経済開発同友会らしい活動展開を行います。

続いて当会の組織です。

八代・天草架橋建設促進委員会では、八代天草架橋建設促進民

間協力期成会の活発な活動で確実に実現への道をたどっています。「架橋」と題すれば国内の海峡横断プロジェクトの取り組みが、平成20年度以降凍結されたままとなっていることに鑑み、国土交通省への要望時に、橋の構想図をみて「海上道路やシーライン」といった名称に変更してみたらとご提案を受け早速本年度検討に入ることにしました。また、署名活動も3万名に手が届き熊本県の道路整備計画に掲げてもらえるよう運動を展開していきます。さらに、前期に着手した事業「八代の夕焼け」も各委員会と協力しながらSNSを手法として進めていきます。夕陽は天草に…朝陽は八代から…観光名所の発見にもつながります。天草側にもこの活動を伝え橋と共に地域間連携を強めていきたいと考えます。

地域支援企画実行委員会では、これから起こりうるだろう様々な地域のチャンスに当会の理念に即していれば参加活動を促す委員会です。情報入手の早さが会員企業に役に立つことです。企業としての会員満足を手がけていきます。また、継続事業の八代妙見祭の「どや顔」フォトコンテストや「献灯運動」も続けていきます。

会員企業活性化委員会では、前期で多数の会員企業が自社の理念を浸透できていない、理念が時代に即していないまたは、理念を掲げていない等の集計が出ました。今回は、会員企業の理念の再構築を図っていきたく考えます。少子高齢化での人手不足や国内マーケットの縮小を踏まえ、また今話題の働き方改革を含めて取り組んでいきます。

地域未来創造戦略委員会では、2020年4月に完成し、様変わりした八代港を地域のランドマーク化し、それに付随する観光サービスを核としてクルーズ船客だけではなく、空港・新幹線での国



実現させよう! 八代-天草架橋

私たちは、八代-天草を結ぶ橋(八代天草架橋)の早期建設を求めます!

昭和60年(1985年)、細川知事が熊本市圏を結ぶ90分構想を発表。八代・松島町間の自動車専用道路建設構想も発表され早32年。現在でも宇土半島から天草2市1町へ至る陸路は、天草五橋を通る国道一本に依存しており、災害時対応の観点から緊急輸送路の確保が必要不可欠な状況であります。また、県南地域には素晴らしい観光資源や農林水産物、産業の潜在能力があり、九州新幹線・高速道路などの高速交通網の結節点としての機能やアジアに向けた物流拠点としての八代港を擁する八代と天草を短時間で結ぶ道路の建設は県南地域の発展のみならず南九州の発展にも貢献できるものと信じます。今こそ、八代天草架橋の早期実現を!!

ご意見・ご感想は下記まで

八代・天草架橋建設促進民間協力期成会(事務局):〒866-0883 八代市松江町290-1・3F
Fax:0965-34-6113 E-mail:jimukyoku@goroyoka-yatsushiro.com

内観光客（外国人観光客を含む）を想定し、地域が儲かる仕組みづくりを模索していきます。地道な活動ですが上記の「八代の夕焼け」もひとつの観光パーツとして考えられます。チャンスをものにする委員会を目指します。

会員拡大交流委員会では、前期に掲げた90人の会員数には達成しましたが、100人を目指します。なぜ拡大が必要なのか、それは猛スピードで変化していく社会の中で企業間の競争も増していくでしょう。しかし、地域の多くの企業が共存共栄していくことが重要です。一人勝ちを目指す時代ではありません。学生時に経験があると思いますが、隣の弁当は美味そうに見える、その弁当を隠すのか、それとも分け与えて作り方を教えるのか、企業間の共存共栄にも必要なことです。当会に入会することによって交流を深めること、その仲間が同じ会としての理念の下に集えば有意義な団体に成長することだと信じます。

委員会基本方針

八代・天草架橋建設促進委員会

委員長 飛 石 幸 弥

昨年度、八代天草架橋の早期実現への機運を更に盛り上げるため、3万人を目標にした署名活動を中心に、国・県への要望活動や八代の夕焼け発信事業を新たにスタートするなど、活動を行って参りました。署名活動を通して、多くの方々から早期実現に期待する声を頂き、「海上道路」や「シーライン」といった名称変更の方が今後の活動に希望が持てるとのアドバイスを頂くなど、実現に向けた手応えを実感できるようになりました。

また、行政と民間期成会と協働で調査研究事業が行われ、産業面・観光面・防災面・生活面など多方面における地域活性化の礎として、県南・天草地域及び九州の均衡ある発展には八代・天草架橋の建設が重要不可欠なプロジェクトである事を改めて多くの方に再認識して頂けたことと思います。

今年度は、引き続き機運醸成に向けて、八代経済開発同友会と八代・天草架橋建設促進民間協力期成会のメンバーの皆様や行政の方々と連携し、

- ①新たな目標に向けた署名活動の継続
- ②八代の夕焼け発信事業の推進
- ③架橋プロジェクトの名称変更についての検討

を軸に、八代と天草を結ぶ海上道路建設が実現に向けて一歩ずつ前進するよう活動を行って参ります。

地域支援企画実行委員会

委員長 吉 川 昭 五

平成が終わろうとしているなか「八代は昔も今も何も変わらんね」との声が聞かれます。平成17年8月に1市、2町、3村の広域合併が実現しました。しかしながら合併から14年が経ち“やつしろのタカラ”を生かしきれてないと考えます。何も変わらないではなく、八代地域の今あるものや新しいものをどう生かしていくかは、私達や次世代の担い手が考えなければなりません。地方では人口減少、老年人口増加、若年層の減少が進み地域活動や祭りごとが年々難しい状況になっている中、まず何が出来るか？出来る事をやる！まず行動、動くことが大切だと思います。

皆と語り合い次世代を担う子供達のために八代経済開発同友会理念のもと会員や地域、行政、企業がそれぞれの立場で考え連携し、新しい時代の変化に合わせながら、活力ある地域を作るために子供達に“やつしろのタカラ”を継承をしていかなければならないと考えます。本年も同様、妙見宮大祭「どや顔フォトコンテスト」・「献灯運動」を継続します。献灯運動は、八代神社周辺や参道に提灯を灯し、皆さんと一緒に祭りを盛りあげたいと考えております。

まず、メンバーと語り合い夢の実現に向かって活動してい

情報発信委員会では、全委員会の活動やイベントなどSNSを使って発信していく必要があります。特に各委員会で企画立案する事業などは、地域の観光やインフラ整備など多岐に渡る事と思います。様々なソフトやアプリを勉強し、情報発信していくことが重要です。また、年数回の会報誌も書面として残すものです。

今期は、全ての委員会が情報共有しながら運営するような組織内容にしました。幹事会にて横の繋がりを強化していきたいと考えます。事務局はそのスムーズな運営を担う重要な役割です。その手法が会員企業にも役に立つようなものにしたいと思います。

最後に当会の理念である「奉仕の志を持つものが、共に集い、学び合い、幸福感のある企業と、活力ある地域づくりに貢献する」を軸に活動をしてまいります。

行政の皆様、各関係諸団体の皆様にはこれまで同様にご指導、ご支援を賜りたく存じ上げます。

たいと思いますので会員皆様の御協力ご支援を宜しく願ひします。

会員企業活性化委員会

委員長 下 山 修 生

“次世代の地域経済を担う子ども達のために…”

今こそ理念による経営をつかみとろう

企業を取り巻く環境が猛スピードで変わりゆく中、その変化に対応するべく決断を行なう時、指針になってくれるものが企業理念ととらえています。社員には理念に向かって大胆不敵に行動してもらうべく、理念の浸透を図る必要があります。会員企業が自社の目的、存在意義、価値観をねりかため、ねりあげて理念を掲げ、社員と価値観を共有し、働きがい、生きがいを創造できるよう取り組みます。その結果、心の充足感と経済的安定が得られ、幸福感のある企業へ繋がることを目指して理念再構築事業を行います。また今後の地域経済にとって会員企業が元気であることが重要であるため、互いの企業のことを知り、共存共栄に資する環境を整えるための事業を実施していきます。

八代経済開発同友会の理念のもと、次世代の地域経済を担う子ども達のために、会員企業の活性化に向かって活動してまいります。

地域未来創造戦略委員会

委員長 高 崎 正

“次世代の地域経済を担う子ども達のために…”

チャンスをもものにする委員会を目指して！

私達のふるさと八代には今、100年に一度といえるビッグチャンスが到来しています。大型ガントリークレーンの設置（2017年7月）、新環境センターの稼働（2018年7月）、新市庁舎の建て替え（2021年3月予定）などの大型プロジェクトが、ぞくぞくと現実のものとなっています。

このような中、2020年4月には八代国際クルーズ拠点がオープンします。物流港として栄えてきた八代港に、新たに人流拠点が国・県の肝いりで整備をされます。八代にとって長年の課題であったランドマークの設置、そして、そこを活用したクルーズ船客のみならず空港・新幹線でアクセスされる国内外の観光客を迎え入れるとともに、市民の皆さんが気軽に集い楽しめる場所を目指し、地域が儲かる仕組みづくりを模索していきます。

次世代の地域経済を担う子ども達のために、このクルーズ拠点を活かして何ができるのか？アンテナを高く掲げ、情報をいち早く入手し、チャンスをものにして行きます。委員会メンバーの皆さんはもちろんのこと、会員の皆様のご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

会員拡大交流委員会

委員長 下 田 和 利

本年度、会員拡大交流委員会では「会員拡大」と「会員交流」と2つの使命があるものと認識しています。「会員拡大」は前期で掲げた90名の会員数は達成していますが更に、100名を目標に増員を図ります。前年は新入会員23名の増員を達成しました。本年度はその新入会員に対して「奉仕の志」「学び合い」を浸透させるための「集い合う」場を提供し、本会の理念や楽しさを伝えることで、新入会員からの紹介による、新たな新入会員の拡大を目指します。

「会員交流」は、例会後の懇親会をただ単に食事の場として提供するのではなく、地域発展のための情報交換の場として、「奉仕の志」をもった会員同士の「集い合う」場としての雰囲気作りに努めます。さらに、例会後に、講師と気軽に話ができるような「学び合い」の場を提供します。

担当例会の「慶寿の会」では、対象者を祝福し、心に残る思い出の会にしたいと思います。また、12月例会は経友会と同時に行い、中央の経済・政治情勢の報告会に加え、会員の皆様が大いに盛り上がりいただける忘年会を企画します。

会員拡大交流委員会は「奉仕の志を持つ会員が共に集う」場を提供するとともに「八代経済開発同友会は楽しい」と言ってもらえる会を運営致します。我が委員会は役割上毎月登場しますが、セレモニーやゲーム等で御指名があった場合は快く了

承していただき、一緒に楽しんでいただければと思います。一年間みなさまの御協力を宜しくお願い致します。

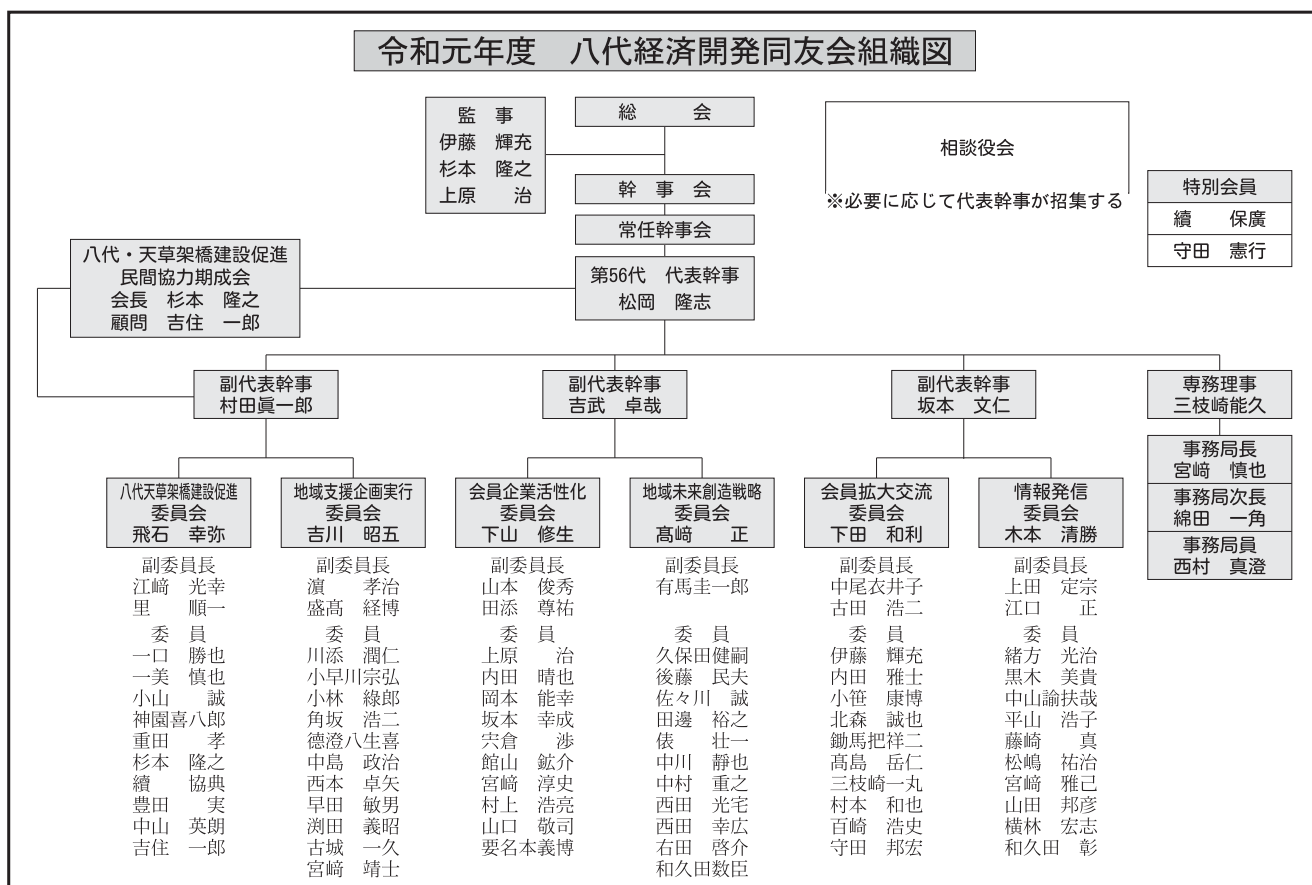
情報発信委員会

委員長 木 本 清 勝

本年も引き続き、当委員会では広報誌・HP・SNSを使って、会の活動を発信致します。広報誌は年間3回の発行を考え、一人でも多くの方に読まれる様に委員会で検討し、「見たい」と思うような工夫も模索します。ホームページに関しては、常に更新し、まだ活性化されていない部分など、細部まで確認していきます。SNSについては、「リアルタイム性に優れ、人と人との繋がりが非常に生まれやすい」というメリットを再認識し、委員会各会員、自らが発信する事が重要となります。その為には会員一人ひとりが当会活動を「楽しむ」事だと考えます。

例会や委員会に参加して何かしら「気づき」や「学び」を持ち帰って頂きたい。そこから「楽しむ」為の第一歩になるはず。真剣に取り組むからこそ一生懸命になる。一生懸命にやるからこそ「気づき」が生まれる。「気づき」や「学び」があるからこそ「会の活動が楽しい」。「八代経済開発同友会は楽しい」と思う会員が増えていけば幸福感のある企業と、活力ある地域づくりに貢献できると信じています。

委員会会員はもちろんの事、全会員のみなさまのご支援、ご協力の程、宜しくお願いします。



「八代の夕焼け」写真の投稿をお願いします!!!

- ① 「八代の夕焼け」と検索もしくは「QRコード」を読み取り。
 - ② トップの「八代の夕焼け」→③ 上段の「投稿する」→
 - ④ 中段の「投稿フォーム」→
 - ⑤ 名前を記入（本名又はハンドルネームでも可）→
 - ⑥ 記事のタイトルを記入（撮影場所など）→
 - ⑦ 投稿の内容を記入（写真の説明、その時のシチュエーションなど何でも）→
 - ⑧ 「ファイルを選択」をクリックして投稿する写真を選択→
 - ⑨ 「投稿を投稿する」をクリック→⑩ 完了!!
- ※本アプリのダウンロードやご利用にはデータ通信料がかかり、自己負担になります。
※Facebook・Twitter・Instagramにもリンクをお願いします。



新入会員の 紹介



山田 邦彦 会員 57歳

2019年4月入会承認
(資)山田粘土瓦工業所 代表社員
企業理念
丁寧な仕事に徹する

会 員 紹 介

今年度は会員の方も少しですが紹介していきます。まずは代表幹事はじめ、会員をいつもサポートしている2名を紹介します。



三枝崎 能久 専務理事 49歳

- 会社名・役職
(株)studio KATSUMI 代表取締役
- 同友会入会日
2011年6月
- 趣味：美術鑑賞・海洋生物調査
- 好きな言葉：創造的に生きよう

◆広報誌を拝読される方にコメント

弊会は約90名にも及ぶ八代地域の企業経済人の集団として、経済活動を中心とした地域開発の推進と地場産業の振興を図ることを目的として、豊かな八代地域を実現する為に活動しております。(過去の事業活動は弊社HPの広報誌をご覧ください)

また本年度は、会員総数100名を目標に会員拡大にも力を入れておりますので、ご興味のある方は弊社事務局までお問い合わせ下さい。

すぐにご説明に伺います。本年度もどうぞ宜しくお願い致します。



西村 真澄 事務局員 ??歳

- 同友会入会日
2018年4月
- 趣味：ホームパーティ
- 好きな言葉：明日は明日の風が吹く

◆広報誌を拝読される方にコメント

いつも大変お世話になっております。

事務局員として入局して1年が経ちました。八代の発展のために尽力されている皆様の少しでも力になれるよう一生懸命努力してまいります。

これからもどうぞよろしくお願いいたします。

情報発信委員会からの おすすめアプリ

今回は八代市でも採用されています「さんあーる」をご紹介します。



「さんあーる」は全国の自治体でゴミの分別や出し方を手軽に調べられるスマホアプリです。八代市も平成29年5月から配信しています。

分別アプリ「さんあーる」の主な機能は次のとおりです。

- 「分別検索」機能 → ゴミ・資源物の品名から分別方法をおしえてくれます。
- 「収集カレンダー」機能 → 「燃えるゴミ」「資源の日」の収集日をカレンダー表示で確認できます。
- 「ゴミ出し日通知」機能 → お住まいの地域の収集日をアラームでお知らせします。
- 「情報提供」機能 → ゴミや資源物に関するいろいろな情報がわかります。

アプリの入手方法について

分別アプリ「さんあーる」をスマートフォンやタブレット端末などにご利用になるには、アプリを次の方法でダウンロードしてください。

※本アプリのダウンロードやご利用にはデータ通信料がかかり、自己負担になります。

※スマートフォンやタブレットタイプの端末機には「アンドロイド端末」と「ios端末」の2種類があり、入手方法が違いますのでご注意ください。

